

介護予防していますか？

介護予防とは、「できる限り、健康で自立した自分らしい生活が送れるようにする」とりくみです。「自分は元気だから今は関係ない」と考えている方も、今から介護予防にとりくみましょう!!

■「基本チェックリスト」とは、ご自身の生活や健康状態をチェックし、介護予防に役立てていただくものです。一度、普段の生活を振り返ってみましょう!

基本チェックリスト(25項目から抜粋)

- 転倒に対する不安は大きいですか
- 昨年と比べて外出の回数が減っていますか?
- お茶や汁物等でむせることがありますか?
- 今日が何月何日かわからない時がありますか?
- の湯気が気になりますか?

■介護予防事業では下記の教室を実施しています。(65歳以上で介護認定を受けておられない方対象)

はつらつシニア教室 (東成区在宅サービスセンター)

日常生活に必要な筋力をアップさせるマシントレーニングや運動を中心に、栄養バランス、口腔ケア(お口の健康)など介護予防全般について学びます。



なにわ元氣塾 (各校下地域集会所や老人憩の家)

地域の身近な場所に集い、体操、脳トレ、レクリエーションなど地域の仲間と一緒に「こころ」と「からだ」を元気にしていきます。



お問い合わせは 南部地域包括支援センター ☎6978-7881 北部地域包括支援センター ☎6971-9700

デイサービス(通所介護)事業“ぜひご利用ください”

介護保険の要介護認定を受けた高齢者に、通所(送迎あり)により食事、入浴、レクリエーションなどのサービスを月～金曜日(祝日・年末年始を除く)に提供しています。広々としたお風呂での入浴、昼食のあとは、ご利用者に合わせた、ゆったりとした時間を過ごしていただいています。また、季節に応じた行事もお楽しみいただけます。体験利用(食費550円)も大歓迎です。

現在、水曜日に余裕がございますので、ご利用をお待ちしております。

お問い合わせは 東成区在宅サービスセンター デイサービス担当 ☎6977-7031



東成区認知症キャラバンメイト連絡会主催 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を理解し、認知症の人や家族を支援する応援者です。あなたも認知症サポーターとなり、自分の家族や身近な人が、安心して暮らせる応援者の一人になりませんか。

日時	場所	定員	参加費
平成26年3月1日(土) 午後2時～午後3時30分	ひがしなり市民協働ステーション ふれ愛バンジー	20名 (先着順)	無料

申込先 → 東成区社会福祉協議会(担当:殿井・向井) [TEL]6977-7031 [FAX]6977-7038

ひがしなり いきいき咲かせ! シニアの輪! 東成区老人福祉センター

☆市内にお住まいで60歳以上の方なら、どなたでもご利用いただける、高齢者の生きがいと健康づくり・仲間づくりを応援する地域の福祉施設です。各種グループ(現在22同好会)も元気に活動されており、東成区老人クラブ連合会の事務局でもあります。

☆今年度は、緑のカーテン(ゴーヤを使った壁面緑化)や、さつま芋・じゃが芋栽培にも取り組んでいます。

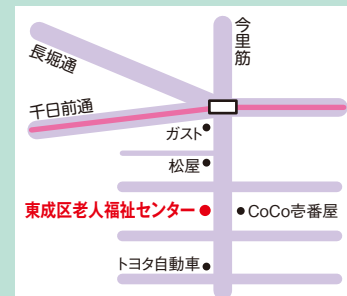
【老人福祉センターの年間行事など(抜粋)】

- 高齢者の総合相談講習会 ● パソコン講習会 ● 囲碁・将棋大会
- お誕生会 ● 歩こう会 ● 利用者演奏大会 ● 文化祭 ● 民謡大会
- 音楽サロン ● 初釜、お茶席 ● おたっや表彰
- 生涯学習講座「いちょう学園」「バンジー学園」



【自主グループ・サークルの活動】

- カラオケ ● 華道 ● 園芸 ● 書道 ● 民謡 ● 俳句 ● ハーモニカ ● 俳句 ● 茶道
- ペーパーフラワー ● 詩吟 ● 民謡 ● 卓球 ● 手芸 ● 川柳 ● 囲碁・将棋 ● 手話 ● ヨガ
- 歌体操 ● サタデージャッキー ● 健康づくりサークル「青葉会」 ● 河内音頭 など



〒537-0014 大阪市東成区大今里西3-6-6
【TEL】6972-0855
【FAX】6972-4706

利用時間 10時～17時
休館日 日曜日・祝日・年末年始
利用料等 無料。ただし材料費や交通費などは実費。
利用方法 利用証を窓口へ提出していただきます。初めての方は、利用証を発行します。

東成区子ども・子育てプラザ

☆子育て活動支援事業☆ 乳幼児の安心・安全な遊び場です。
対象 乳幼児(0歳児～就学前)とその保護者
利用時間 火曜～土曜日……9時30分～20時45分
日曜日……9時30分～17時
ランチタイム……11時30分～14時(多目的室)
※夜間のご利用にあたり、プラザへの行き帰りは十分にご注意ください。

☆児童健全育成事業☆ いろんな学校・学年の子と遊びを通じて交流できる場所です。
対象 小・中高生
利用時間 火曜～金曜日……放課後～17時
土曜・日曜日……午前9時30分～12時/午後13時～17時
(学校が休みの日)

毎月のおたよりは、東成区社会福祉協議会ホームページにてご覧いただけます。楽しいイベントや行事の案内をお見逃しなく! (<http://www.higashinarikushakyo.jp>)

【お問合せ】東成区子ども・子育てプラザ
〒537-0021 大阪市東成区東中本2-3-16
【電話/ファクス】06-6976-0300
開館時間 午前9時～午後9時
(日曜は午前9時～午後5時30分)
休館日 月曜・祝日(5月5日を除く)・年末年始
※月曜日が祝日の場合は翌日休館

プラザ スペシャルフェスタ 2014 東成区子ども・子育てプラザ ～HAPPY SMILE～

開催日 平成26年3月28日 金曜日 開催時間 12時30分～開場
会場 東成区民センター 大ホール

- ホール内 エア遊具 遊びのコーナー など
- ステージ 高校生による音楽ステージ プラザファミリーコンサート プラザ利用団体発表など
- 展示・紹介コーナー 区内の子育て情報 子育てボランティアの活動 プラザの事業・行事紹介など!

平成25年度 社会福祉講演会

支える側が支えられるとき

～認知症の母が教えてくれたこと～

「満月の夜、母を施設に置いて」(中央法規)

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびたりとくっついて
ずっこの扉を見つめているんだと聞いた。
それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母としては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。
*
認知症の母を
老人ホームに入れた。
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとする
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅつとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

藤川幸之助

入場無料

当日、先着300名様に、知的障がい者就労支援施設で作成されました記念品を差し上げます。
申し込みの必要はありません

開催日時 平成26年 2月15日(土) 午後2時～4時(終了予定)


(受付開始 午後1時30分～)

開催場所 東成区民センター2階大ホール(大今里西3-2-17)

講師 藤川 幸之助(ふじかわ こうのすけ)

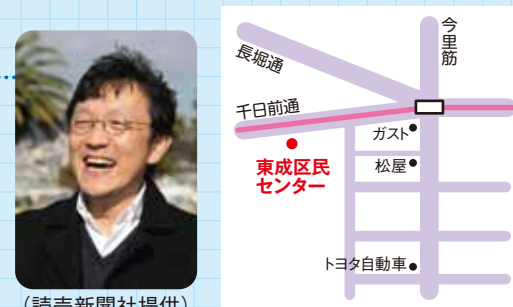
- 詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。
- 1962年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。

手話通訳あり 【協力】東成区赤十字奉仕団災害手話ボランティア隊

主催  社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会

お問合せ 東成区社会福祉協議会 ☎06-6977-7031 ☎06-6977-7038

この事業は、(福)大阪市東成区社会福祉協議会が大阪市より委託を受け実施しています。また、赤い羽根共同募金配分金を一部活用しています。



見守り訪問ボランティア養成講座

見守り訪問ボランティア活動での“小さな変化を見逃さない”をテーマに、見守り活動のポイントなどを2回講座で学びます。

日時	会場	講師	募集人員	対象	参加費	主催
①平成26年2月12日(水) 午後1時30分～3時30分 ②平成26年2月19日(水) 午後1時30分～3時30分	東成区在宅サービスセンター3階多目的室(東成区大今里南3-11-2)	大阪教育大学教育学部人間科学講座 准教授 新崎 国広さん	30人(定員になりましたら締切)	●「協力事業者による高齢者、障がい者等の見守り事業」に協力する事業者社員 ●地域で活動する見守り訪問ボランティア ●見守り訪問ボランティアに関心のある方	無料	東成区ボランティア・市民活動センター 社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会 電話 6977-6336(直通) FAX 6977-6339(直通)

在宅介護支援センター連絡会では、在宅で介護されているご家族の介護負担の軽減と心身のリフレッシュを図るため、家族介護支援事業を行っています。

高齢者施設 見学バスツアー 【日時】3月8日(土)午後1時～4時
【集合場所】ハミングベル中道(定員 15名)
「施設の設備やケア内容に興味があるが、一人では見学に行きにくい」という方向けのバスツアーです。今回は3か所の施設を見学する予定になっています。

講演会 【日時】3月15日(土)午後1時30分～3時
【場所】東成区民センター 小ホール(定員200名)

「認知症になっても自分らしく暮らせるために、大切なものを見つけよう ～センター方式で本人の思いを知る～」今回の講演会では、認知症介護研究・研修センターの認知症の人を支援するためのシートである、「センター方式」について学びます。実際に記入する体験や、今後の有効的な使い方を紹介しますので、認知症介護に関心のある方はどなたでもご参加ください。

【お問合せは】東成区北部地域包括支援センター(☎6971-9700)まで
主催:東成区在宅介護支援センター連絡会 共催:東成区社会福祉協議会

報 平成25年度 告 布団丸洗い乾燥サービス事業

東成区社会福祉協議会では、みなさまからのご寄付(善意銀行)に大阪市補助金を活用して、日頃から布団の衛生管理が難しい高齢者、障がい者世帯の方を対象に、生活環境の向上を目的に布団丸洗い乾燥サービス事業を実施しました。

◆利用者(のべ人数)286名(障がい者21名を含む)
◆利用枚数 布団…403枚 毛布…215枚

◆精算額内訳(年間内訳)
東成区善意銀行払い出し事業、及び、大阪市寝具洗濯乾燥消毒サービス事業補助金を活用

総経費	¥1,010,192-
内訳	
善意銀行	¥278,819-
大阪市補助金	¥446,573-
利用者自己負担金	¥284,800-

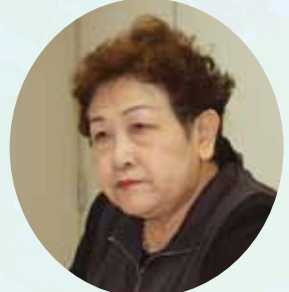
食事サービス活動 座談会

ご参加いただいた方々

今回は、東成区の各校下において、永年食事サービス活動にかかわってこられた方々にお集まりいただき、活動の“楽しさ”や“素晴らしさ”などを語っていただきました。



神路校下食事サービス委員会 委員長
酒井 典子さん



中本校下食事サービス委員会 委員長
橋本 輝枝さん



東中本校下食事サービス委員会 副委員長
白記 嘉美さん



大阪市東成区社会福祉協議会 事務局長
石川 洋志

●「おいしかった!」の一言が、活動の励みに

石川 食事サービス活動を取り巻く状況が、昔と比べて大きく変わってきている中で、この活動は以前と変わらず続いています。活動期間が短い地域でも15年ほど、長いところでは30年以上にもなります。地域に根付いた活動、本当にありがたい活動だなと思います。私も、社協に入って20数年になりますが、最初のころは、ちょうど「ふれあい型高齢者食事サービス事業」を立ち上げていく段階でした。各地域に活動実施のお願いして回っていました。食事サービスはなかなか大変な活動で、ボランティア調理のところでは、メニューづくりから食材の買い出し、調理や盛り付け、片付けまでを行わなければなりませんよね。
白記 そうそう。それに、予算もありますね。予算の範囲内で買い物しないといけませんし。
石川 活動日が1日だとしても、みんなでメニューを考え、買い出しや片づけなどを考えると、3日くらいは拘束されるようなイメージになりますよね。月2回なら5〜6日はかかったりしますから、みなさん手間をかけておられますよね。暑い日も寒い日も本当によくやっていたらと感謝しています。さて、この座談会で、みなさんに語っていただきたいのは、この活動の“楽しさ”や“素晴らしさ”などについてです。“普段の活動”や“やりがいのあること”、また、“悩み”や“難しさ”などについてお話しいただきたいと思います。東成区で一番早く実施した東中本は、大阪市内でも8番目でしたよね。
白記 今年で33年目を迎えました。開始が、昭和55年でしたから。私も思の地域では、もともとは、老人憩の家での会食だったんですが、高齢化して来所できなくなる方が多くなり、配食を主に行っています。お弁当をお届けすると、おいしいちゃんがちゃんと座って、お金も置いて待ってられます(笑)。弁当を渡すと、「この前もおいしかったよ」とか「いつもおいしいわあ」と声をかけてくれます。それが一番うれしいですね。
石川 直接「おいしかった」とか「ありがとう」などお礼を言われるのはやはりやりがいがありますか？
白記 利用者さんと直接接しますから。自分が歳を重ねてくると、特に思いますね。区の広報紙に載ってたりするのも励みになります。ボランティアさんも喜んでました。
石川 以前、NHKで取材されましたよね。あの時期は、食事サービス事業補助金について議論が行われていました。そのような中で、この事業を守りたいということ、必要性をお伝えしました。結果的には、全額ではなかったものの何とか補助金は存続しました。今後は、活動に対する評価とその補助という考え方も必要ではないでしょうか。
白記 ほんとうにそうですね。東中本校下では、高齢者の中でも元氣と思われ方には辞退してもらい、配食数の調整をさせていただきました。ですから、最初は5〜60人登録がありました。結果的には35人程度になっています。
石川 ほんとうにサポートのいる見守りの必要の方が主になっているのですね。
橋本 中本は、会食と配食を両方行っています。配食は、地元の小學生にお弁当を届けてもらっています。

●活動も時代に合わせて変わってきた
石川 この食事サービス事業は、食事の提供だけではなく、色々な要素があって、見守りだったり、世代間交流があったり、食育のことであったりするんだと思います。
酒井 神路の場合は、現在会食ですが、配食を行うと食数が多くなりすぎると思っています。ですから、今まで来所されていて最近来られなくなった方には、隣近所の方に持って帰ってもらったりしています。もともと、「食事の時に話し相手がいたらおいしく食べられるだろう」とみんなで考えたのが事業の始まりでした。また、押し車も最初の頃は1台も無かったのに、最近はずら〜と並ぶようになりました。
石川 東中本では、そのような状況から配食のみになっていったんですね。もともと会食をしておられたんですよね。
白記 そうです。昔はたくさんの方が来られて、会場いっぱいになっていましたから。でも、高齢化してきて、会場へ来られなくなってきた方が多い。来られなくなってしまっても、お弁当を食べたいとおっしゃる方が多くなったので配食が増えてきて。今、神路で押し車が増えてきているということですが、今後はその方々が、会館に来るのが難しくなるのかもかもしれません。
酒井 そうなれば、隣近所の方で少し若い参加者に一緒に持って帰ってもらうようにしたい。配食はボランティアの人数がたくさん必要だと思います。
石川 中本校下でもそうですか？
橋本 中本もそうです。参加者は60名くらいです。40人弱が会食で、残りは配食とになっています。配食はもともと民生委員さんが見守りを兼ねて活動しておられました。あるとき中本小学校からの要請で小學生が配るようになったんです。民生委員だけで配れば早く済みますが、子どもたちが高齢者と接する機会も必要だと考え、実施しています。
白記 私も、それはいいことだと思います。今は、私たちの世代と違い、家族の中に高齢者がいないので、接する機会が少ないですから。
橋本 そのうちに、小學生たちが絵手紙を添えて配食するようになったり、学校行事の案内を持参したりしています。6年生の12月まで活動し、その後は5年生が引き継いで活動していきます。
石川 お世話するボランティアの方の年齢も高くなってきていますか？
白記 そうですね。うちのボランティアさんは最高86歳で、班長をしていただいております。ボランティアさんは高齢化してきています。
酒井 私は、開始当初からかわってきました。自分でもよっぽど好きなんだと思います。それに、「おいしかった」と言われると一番のご褒美ですよ！
白記 そうそう。そうなんです！

橋本 やりがいもありますね。でも、たまに「ありがたうございました」と言われるんですが、「おいしかった」とは言われない日があるんです。その時は、「おいしくなかったかなあ」と不安になります(笑)。
酒井 あれはやっぱり気になりますよね。
橋本 自然に出る「おいしかった」の言葉に、喜んでいただけたんだとうれしく思います。健康のためとはいえ、全部薄味にしてしまうとおいしく感じられないので、もちろん、濃い味付けばかりではだめですけどね。
石川 献立作りで、意見の違いなど出たりせんか？
酒井 前に作った献立の中から、要望のあったものを取り入れたりしつつ検討しています。
白記 参加者さんに何がおおいしかったか尋ねるんですね。
酒井 私は、帰り際に玄関で、声を掛けてもらっています。味の評価を訊いて、次につながるように。参加者の中には、病気で海藻系がダメな方がおられて、ひじきなどを使いたいときは、前もって抜いておいて調理しています。
橋本 それは大事なことです。耳に入れればよいですけど、おひとりおひとりの健康状態の把握は難しいですね。
石川 今まではそのようなことを意識することがあまり無かったけど、今後は配慮の必要も出てくるでしょうね。

橋本 「お弁当を全部は食べられないので持って帰りたい」とおっしゃる方もおられて、それはちょっと困っています。わからないように持って帰ろうとするんですけど。(笑)「持って帰りたい気持ちは分かるんですけど、これでもし食中毒などの事故が起きたら、食事サービスをできなくなるんですよとお伝えしています。
石川 食事サービスの補助金も、食事の補助は元々150円で、それが250円に増額されたんですね。それが、今また、150円となりました。
酒井 昔は、150円でやっていましたもんね。
石川 白記さんが以前150円から250円になったとき、「そしたらお魚は、サバからサワラに変えたらいいよね」とお話しされたのが、すごく印象に残っています。ですから、今度は「サバに戻してください」とお願いしなければなりません(笑)。
酒井 戻せないですよ(笑)。
石川 250円から100円分の減額、つまり事業費は40%も減っているわけですから、相当影響があって当然なんです。そのような中でも、こうやって頑張っていたらいいですね。献立作りから工夫していただいているんだと思うのですが。
酒井 食材も少し薄くしたり、ほんのちょと変えてたりします。量も少なくなったりとか、目に見えない努力をしています。材料もできるだけ安いスーパーに行っています。
石川 みなさんは、買い物はどちらに行っておられますか？
橋本 ほぼ、スーパーですね。
白記 同じですね。
酒井 神路は、商店街も使っていますね。近いですし、買い物で値段をまけてくれます。また、配達もしていただけます。
石川 そうやって、地元商店街を使ったり、スーパーを使ったり、みんなでチラシを見て、少しでも安いところを探して工夫しているんですね。
酒井 あまり前もって購入することができないので、その日の朝にチラシを見えています。

●参加者のスマートフォンが鳴り、スマホの話題から

石川 昔は、携帯もスマホもなかったわけで、暮らしおりはすごく変わっていますよね。そのような時代の中で、食事サービスも変わった方がいいのか、変わらない方がいいのか、どちらなんですか？
橋本 どういう風に変わるかじゃないでしょうか。
白記 私のところは配食だけなんですけど、その変わり方ですかね。
石川 そういう、「配るか」、「集まるか」、「アレルギ-の対応も含めて、メニューはどうするか」、「活動者をどう集めるか」、「高齢化してきた活動者」のこともありますね。地域の活動は、循環型と言われていますよね。ある時は活動者で、歳を重ねると利用者になる。あるいは、普段から活動者であったり利用者であったり、ぐるぐる回るわけですから、どうい形で引き継いでいくのか、引き継いでいけるのか。この活動に引き手がいるのかどうか。
白記 最近では、50歳代の方たちで仕事をしておられる方が多い気がします。
酒井 昔は、50歳代で地域の活動に入られる方がおられたんですが、今はお勤めの方が多いですよね。神路では、若い方は、わざわざその時は休みを取ってきてくれているんです。ところが、そんな時に限って、会館にお葬式が入ったりするんですね。せっかく休みを取ってらっしゃるのに、ずらすことができない、それが一番困ることでしょうか。
白記 東中本は、活動の回数が多いので、今活動している方が引退してしまおうと活動を維持できません。今は、知り合いの方にお声掛けして活動に参加してもらっていますから、大丈夫ですが。
酒井 隣近所で声掛けしてもらったり、活動をやめる時にはだれか紹介してもらったりして、やってくれる分はいいんですけど、いつまで続くか不安はありますね。
石川 東成区でも、ボランティア調理から業者調理になったり、活動の担い手が少なくなってきた地域が出てきている現状では、今後、さらにそういう地域が増えてくることも考えられます。そんな中でどう活動を継続していくのか。あるいは、継続しなければいけないのか。スーパーやコンビニが有って、弁当屋さんもあり、元気な人なら買い物に不自由ない時代ですから、安く手に入る。でも、地域の食事サービス事業は、そういうものとは違います。
橋本 昔は、配食の申し込みは独居高齢者などに限られてきました。老老介護などで困っている方なども状況により申し込みを受けるように配慮しています。

石川 それが地域の活動の良いところですよ。私のところも同じような対応をしています。
橋本 外に出られない方は、配食にしてあげないとダメかなあ。

●この活動は、食事の提供だけが目的ではない

石川 スーパーやコンビニでは配慮されないところを、地域で配慮して支えあいの中でつながっていくところが一番大事なことなんですよ。その大事な部分に高齢者が気付けてくれてくれたら良いんですけどね。でも、「もうそんな辛気臭い。そんなやったらスーパー行ったらええかな」みたいなことを言う人ばかりになったら困るんですけどね。
橋本 まあ、動ける人はねえ。
石川 今は、業者の宅配のお弁当もありますよね。お金さえ出せば、一食分持ってきてもらえる訳です。それと、地域の食事サービス事業は一緒ではないということなんです。食事を持ってきたらそれでよいという訳ではない。配食であっても、顔と顔を合わせて話をする。お互い様で、「おおきに」「いやいや、こちらこそ」というような関係が、大事なんですよ。
白記 それが大事だと思います。
酒井 参加者の中に、5〜6年ずっと来られていた方がおられて、体調を崩されて来ることができなくなってしまったんです。仕方なく、業者のお弁当を頼んでおられたんですが、3,4年経ったころ、「業者のお弁当はもう飽きた」とおっしゃって「また、手作りのお弁当を食べたい」と申し出があり、隣の方が持つて来てくれることになりました。やっぱり、隣近所の付き合いがなかったら難しいですね。その方は隣人とつながりがありますから、いいんですけど。
白記 活動には、マンション住民も参加されていますから、つながりはあるんですけど。その方にお聞きしたら、マンション内ではつながりがないらしいです。
石川 マンションにお住まいの方でも、積極的な方は外につながりを求めて出られるんですね。マンションの中のコミュニティづくりは厳しいんでしょうかね。
白記 マンションにもよるんでしょうけど。お正月に住人同士が集会所でコミュニケーションを図っておられるマンションもありますから。

●地域の活動は、すべてつながっている

石川 普段からつながりがないと、いざというときもつながれないんですけどね。地域の公園なんかでも、落ち葉でいっぱいになっていて、地域の方がお掃除されていますけど、その活動がなければ大変なことになるわけですよ。きれいに使えるのは、地域の方がいるからなわけです。そこは分かっているんですけどね。
白記 掃除当番は、町会順番できますから。週に一回回っていますもんね。
橋本 女性会、老人会、宗教団体など地域の各団体が一月に一回ずつ公園を掃除しています。小学校の生徒も掃除に来てますからね。
酒井 小学校の生徒も「食事サービス活動」も「ふれあい喫茶活動」も「子育て支援活動」も、みんなつながっているんですね。一つひとつがばらばらの活動ではないんですね。
橋本 食事サービスにしても、今おっしゃったようないろいろなボランティア活動にしても、ボランティアしようというみなさんの気持ちこそいいなあと思います。
酒井 手伝ってくれる方がいなくなったらできないですから。
橋本 みなさんの「ボランティアをしよう」と思う、その一生涯懸命な気持ちがある。他人のこともなんかにどうでもいい、みたいな感じだと、冷たい世の中になりますよね。そうなるのが心配ですよ。年寄りだから、こんな気持ちになるんでしょうかね(笑)。

食事サービス 3校下紹介

中本高齢者食事サービス活動

第2・4水曜日に配会食を行っています。配食では、小學生がボランティアとして高齢者宅を訪問しお弁当を配ります。その時に、自筆のお手紙を併せてくばり、交流を深めていました。会食では、訪問当日は肌寒くあいにくの雨模様でしたが、みなさんほほ時間通りに集合され、楽しくお食事されていました。



東中本高齢者食事サービス活動

毎週月・木曜日の夕方に配食を行っています。「この活動を継続させる秘訣は、ボランティアの仲の良さ」の言葉に、納得させられる雰囲気を感じられました。お弁当完成後、来所された方や、配食でお弁当を受け取られた方は、みなさん「おいしいお弁当ありがとう」と笑顔で話されていました。



神路高齢者食事サービス活動

毎月第1・3金曜日に会食を行っています。会館建物の1階と2階を使っての活動を行っています。配膳には、専用リフトが設置され、階段の昇り降りの負担が減り2フロアでの実施を支えています。また、ボランティアの方々も和気あいあいと楽しく活動されていました。



「福祉用具学習会 STEP2」を開催しました。

昨年度に開催したSTEP1「福祉用具って？」が好評でしたので、STEP2は、「住宅改修って？」をテーマに開催となりました。～実際の改修工事の現場の写真や工程の説明を聞きながら、自分の家ならどうするか?改修事例をスクリーンで実際に見ることで、参加者からはたくさんの質問が飛び出し、およそ90分間の講座はあっという間に、和やかな雰囲気ですべて終了しました。参加者アンケートでは、次回学習会への参加希望とよりあげてほしいテーマなどの意見が寄せられました。(東成区社協 担当:寺田・萩原・菰池)～

協力:ケアライフ・メディカルサプライ株式会社(講師)

●高齢者食事サービス活動は下記地域で実施されています。実費(¥300)がかかります。詳しくは、東成区社会福祉協議会までお問い合わせください。

校下名	高齢者食事サービス活動		
	活動内容	活動場所	
東小橋	第1〜4(土) 昼 配食	地域集会所	
大成	第1〜4(水) 昼 会・配食	老人憩の家	
今里	第2・4(水) 昼 会食	今里公民館	
中道	第2・4(土) 昼 会・配食	老人憩の家	
北中道	第2〜4(木) 昼 会・配食	地域集会所	
中本	第2・4(水) 昼 会・配食	老人憩の家	
東中本	毎週月・木 夕 配食	老人憩の家	
神路	第2・4(金) 昼 会食	ふれあい会館	
深江	第1・3(木) 夕 会・配食	老人憩の家	
片江	毎週(水) 昼 会食	地域集会所	
	毎週(土) 昼 会食	老人憩の家	

